

あおぞらだより

第138号 (発行/平成26年11月)

江戸川病院 秋の催し

惜別

江戸川病院院長 新村ヨシオ



心の支えになってくれていた高校時代からの親友が逝った。これまで、自身の人格構造の基礎を形成してくれた恩師2人を見送り、大学時代の友人も7年前に失い、今回は高校時代からの友人を10月28日に亡くした。彼は自身の理解者という存在であったため、喪失体験としては強烈である。高校時代は常に岐路に立たされることが多く、同一性が揺ぎ葛藤が大きかった。彼は自身を尊重し、余計なことは言わず、ずっと傍らで見守ってくれた人であった。家庭など境遇面での距離感があったが価値観や人生探求そして社会の矛盾や権力批判などは共有できしており、社会人になってからも付き合いは更に深くなった。友人は現役で大学合格し、浪人している自身にさりげなく声をかけてくれた。引越しを考えていると車を用意してくれ、浪人生活中も時々訪れてくれた。

彼は薬剤師となり、一足先に社会人となったが、常に自身の医学生ぶりに関心をもって、声をかけてくれた。本命の大学受験前夜には、自身のアパートに来て泊まって、受験会場に付き添ってくれた。合格を人一倍喜んでくれた。大学にも立ち寄ってくれたことも思い出した。懸命に働いていたこともあり、同じ資格を持った女性と知り合い、薬局経営に乗り出した。規模も拡大し、進歩的な同業者と勉強会を重ね、研修会にも積極的に参加し活躍していた。地域でも中心的な店舗となり、繁盛していた。残念ではあったが子どもは得られなかったが、発展させ活き活きとしていた。

好事魔多しとは言うが、まさかの出来事が起こった。彼の妻が癌になり手術を実施した。子宮癌であったが転移や癒着で再手術を繰り返し長期の自宅療養を余儀なくされた。

次ページに続く・・・

好事魔多しとは言うが、まさかの出来事が起こった。彼の妻が癌になり手術を実施した。子宮癌であったが転移や癒着で再手術を繰り返し長期の自宅療養を余儀なくされた。それでも彼女は歩けなくなるまで、お客と接し気丈に振舞っており地域貢献を生き甲斐としていたようだ。残酷にも病魔は忍び寄り、献身的な介護も空しく、彼女を死に追いやった。この時に介護の苦勞、人間の尊厳に直面し、人間の無力さ、弱さを口にしており、癌に患い、治癒の見込みがなかったら、自分は天命を待つという主旨のことを述べていた。

薬業にも規制緩和の波が押し寄せ、医薬分業の徹底でとてもひとりでは切り盛りできないと決心し、断腸の思いで閉店を決断して勤務薬剤師となった。勝手が違うと困惑しながら、機械化や情報処理の困難を克服し、適応していった。65歳の定年を迎えるにあたり、山歩きを趣味とすると張り切り出した。持ち前の徹底性で、3000M級の山登りが朝飯前になってきた。平成26年6月に登山に参加したら、5合目で動けなくなり、隊列が下山途中で合流してくれ、帰宅できたと落胆していた。それでも夢を持って訓練していた。

平成26年8月初旬に突然ファックスが届いた。「私の事態が急に変わりました。相談したいことがあります。」という内容であった。余命3ヶ月と言われた。「胃癌が原発で、肝転移しており、治療しなければ3ヶ月の命だと説明された。手術はしない、だからお前に面倒みてほしい」と言ってきた。突然言われてもと固辞したが、「もうやりたいことはやってきたし、生には執着していない、だから頼むよ。」と看取りを望んできた。同8月23日、献体の手続きも完了し、身の回りは全て整理してきた。

疼痛や苦痛の緩和のことで弟家族と相談し、腹水を抜くことを提案したが、苦しくないと言ってさえた。末期に近づいても「苦しくない」と言い続け、面会者やわれわれにも「なかなか悪くならないもんだよ。」と言って、周囲の心遣いに「有難う。」を連発していた。残念ながら同10月28日永眠した。

分かれるのは早すぎると思うが、人生の岐路には必ず自身の傍らにいてくれ、自身の支えになってくれた君に心からありがとうと言いたい。専門外の診療科なのに自身に死に水をとらせてもらい、少しは恩返しができたと思っている。安らかに眠ってほしい。今回、自身が故人のことを書いたのは、追悼文であることと、癌の終末期医療や尊厳死について考えさせられる貴重な体験をさせてもらったので報告したい意味もある。それに献体したために葬儀は行われず、自身の役目として弔辞代わりになればと筆を執った。

——— 天高く～秋の行事 ———



桃源誕生会
♪秋のコンサート

今年も野田市の南部小学校のみなさんが
すてきな歌声を披露してくださいました。

みなさん声を出してなつかしい ♪♪♪
歌を歌ってくださいました。

歌を歌うことは、身体にも良く、
気持ちにもこの上ないリラクゼーション
になりますね。皆様歌うことは大好きです



恒例 秋の東葛中学生駅伝



車椅子からも応援します！



頑張れ～ がんばれ～



桃源の方たちも関をあげて応援しました

デイケア
秋の合同大運動会

木野崎病院から 12 名、当院から
20 名、ボランティアさん 2 名
の参加を得て、大盛況でした



院長・看護部長から
ご挨拶





月例 朝礼

江戸川病院では11月1日よりユニフォームが新しくなりました。職員一同気を引き締めて職務に励んでまいります。

江戸川病院 11月 院内行事予定

11月誕生会	1・2・3棟	11月15日(土)	AM10:00～	ひまわり
桃 源		11月22日(土)	PM 2:00～	6F ホール
サクランボシアター		11月11日(火)	PM 2:00～	ひまわり
デイケア・3-2合同活動		11月4日(火)	PM 2:00～	ひまわり

今月の脳トレ 秋といえば食欲の秋! さあ、いくつわかりますか?

～ 美味しい秋の魚 皆さん、これがわかればつうですね～

ア○ ア○ゴ ア○○イ ア○ タ○ ○○ワ○ビ ○ツ○ ウ○メ
 オナガ○○、 カ○ カ○ゴ カジキ○○○ カ○オ カ○ス カ○イ
 キ○メ○○ コ○ サ○リ サ○マ ヒ○マサ シマ○○ タ○ウオ

～塩鮭と白菜のクリームパスタ～ 材料[3人分] スパゲッティー300g 白菜3枚 塩鮭切り身大1切



バター大さじ3 小麦粉 牛乳 300cc

固形スープの素 1/3 白ワイン(酒) 粉チーズ

- 1 鮭の骨と皮をとって大きめに切って。小麦粉をまぶしましょう
- 2 鍋にバター大さじ3をとり、鮭を焼きます
- 3 両面を焼いたら、拍子切りにした白菜を加えて軽く鍋を上下に振ってひっくり返しましょう(これを『あおる』って言うそう)
- 4 牛乳を加え、スープの素、白ワイン大さじ1を加えて煮てね。
(あればケイパーを少し加えるとなお風味がよく・・・)

5 ゆでたパスタを入れて混ぜ、コショウ少々と粉チーズをたっぷり加えれば出来上がり。

◆編集後記◆今年は、10月の気温が高かったように感じます。これからは1年でも最も景色も美しく、過ごしやすい晩秋を迎えます。外に出て、身体を鍛え冬に備えましょう。

『あおぞらだより』に関するご意見
 ご感想・ご投稿などは『医療相談室』
 まで、お寄せ下さい。(内戦238)

医療法人社団 全生会 江戸川病院
 〒278-0022 千葉県野田市山崎2702
 電話 04-7124-5511 <http://www.edogawa-hp.com>

今月の入職者紹介

藤澤 寿子(看護師) 大須賀真知子(看護師) 上原聖子(看護助手)

アジ アナゴ アマダイ アユ タイ ウチワエビ ウツボ ウルメ オナガクロ カキ カサゴ カジキマグロ
 カツオ カマス カレイ キンメダイ コチ サヨリ サンマ ヒラマサ シマアジ タチウオ